

# 広野町で おはなし&交流会を開催しました

- ・ 目的：子育て世代の保護者が放射線について気軽に学び、話すことができる場を設けることで、普段の生活の中で感じる放射線に関する疑問や、第一原発事故による放射性物質の食品への影響等についての不安払拭に繋げる。
- ・ 開催日時：令和7年2月15日（土）10:30～12:00
- ・ 開催場所及び講師：広野町保健センター〔講師兼ファシリテーター：柏崎佑哉（長崎大学）〕
- ・ 参加者：広野町、大熊町、川内村のこども園等に通う児童の保護者6名、児童9名、計15名
- ・ 内容：一講話「放射線の基礎」  
一意見交換、質疑応答
- ・ 概要：講話では、放射線の基礎知識や健康への影響、食品中の放射性物質等について学んだ。その後、広野町産のお米や野菜を使用し、広野町食生活改善推進委員と参加者が作ったチラシ寿司等をたべながら意見交換を行い、交流した。参加者からは、「貴重な機会をいただきありがとうございました。不安が少しでもなくなるよう、正しい知識を今後も追究していきたいと感じた。」等の意見があった。

## 【主な意見交換等】

- ・ モニタリングポストは何を測定しているのか。  
→ 周辺の空間線量率を測定している。
- ・ 放射線に関する新たな知識を得ることができた。また、双葉郡で普段生活するうえでは、あまり気にしなくて大丈夫であることが分かった。
- ・ 震災当時に想像していた状況より、原子力災害の被害は少ないことが分かった。
- ・ 福島県内で採れる野生の山菜等が食べることができる様になって初めて安心することができる。



講話の様子



意見交換の様子